

長期使用製品安全点検制度

制度の概要

消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の発生のおそれがある9品目を「特定保守製品」とし、製造事業者、消費者などがそれぞれ役割を果たして経年劣化による製品事故を防止する制度です。

特定保守製品購入後の流れ



制度対象製品の事故事例

【事故事例】

ビルトイン式電気食器洗機を使用中、製品を焼損する火災が発生した。

食洗機のドアを繰り返し開閉したことで、内部配線に半断線が生じ、絶縁被覆が劣化してショート、スパークが発生し、出火に至った。

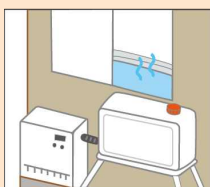


再現実験の様子



事故防止のために

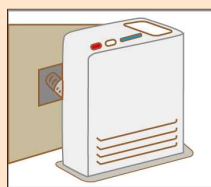
● 特定保守製品の9品目を購入した際には、所有者登録をしてください。



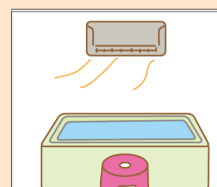
石油ふろがま



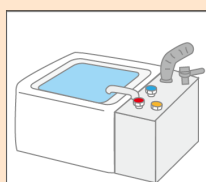
石油給湯機



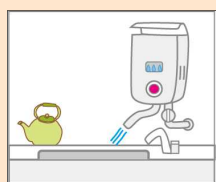
FF式石油温風暖房機



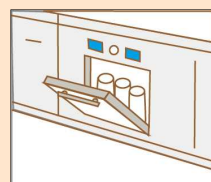
浴室用電気乾燥機



屋内式ガスふろがま
(都市ガス用/LPガス用)



屋内式ガス瞬間湯沸器
(都市ガス用/LPガス用)



ビルトイン式電気食器洗機

(注) 品目数につきまして、屋内式ガスふろがまと屋内式ガス瞬間湯沸かし器は都市ガス用とLPガス用で、それぞれ1品目として数えております。

